

さとうきび害虫カンシャシクイハマキ (メイチュウ)の防除試験について

県農業研究センターは、カンシャシクイハマキの発生密度や被害の低減に向けて、フェロモン剤を用いた試験を行います。

試験期間 令和4年3月～令和4年7月予定

試験地区 糸満市照屋・八重瀬町世名城



【試験に関する協力をお願い】

- ①畑でのフェロモンチューブ・噴霧器の設置(設置作業に伴う畑への出入り)
- ②フェロモンチューブを外さないで下さい
(人や作物等への影響はなく、やがて自然に分解されます)
- ③更新などの作業に支障がある場合は、移動させ、作業終了後、**地面につけないようにして**再び設置して下さい
- ④噴霧器を移動する場合は元の位置に設置してください

フェロモンとは！

フェロモンとは、メスがオスを誘き寄せる匂いのことです。この匂いは人には匂わず、害もありません。

この匂いをさとうきび畑に人工的に充満させることで、メスとオスの出会い・交尾の機会を激減させます。

その結果、カンシャシクイハマキの繁殖・密度が抑制されます。

問い合わせ先 沖縄県農業研究センター : (098) 840-8504
糸満市農政課 : (098) 840-8134
八重瀬町農林水産課 : (098) 998-4624
南部地区きび協議会 : (098) 944-1193
ゆがふ製糖南部事務所 : (098) 998-7155
南部農業改良普及センター : (098) 883-3515